

「文献目録」の作成にあたって

——経緯とお願い——

京都歴史災害研究会 事務局

この「文献目録」は、現代までを含む歴史災害について、これまで出された文献をリストアップしたものである。ここでいう文献とは、学術雑誌や書籍などをさし、古文書などの史料を意味していない。後者の史料や古地図などについては、次号以降に「史資料」で掲載を始める予定である。なお、この「文献目録」作成にあたっては、立命館大学大学院文学研究科の院生などが、集収・編集作業を担当した。

ここではまず、災害を地震、火災、気象災害、土砂災害、水災害に大別した。その上で、実際には土砂災害と水災害（渇水）は、気象災害との関連が深いので、項目としては気象災害・土砂災害、気象災害・渇水は、1つにまとめてみた。従って、本誌で扱った項目としては、地震、火災、気象災害・土砂災害、気象災害・渇水、台風、洪水となる。今後もし問題が出てくるようであれば、この分類については、将来変更することもあり得る。

文献目録は、これらの項目毎に、文献名・書名、著者名、雑誌・書籍名、出版社名、巻号、発行・発表年、ページ数で表現しており、発行・発表年の順にソートしてある。今回は、紙媒体で表示したため、会誌上での操作はできないが、他にも地域などの情報も含めて電子媒体に取り込んでいるので、地域別にソートするなどの処理は可能である。

今回は、文献目録（その1）として、これまでに集められたものだけを掲載した。まだ収集しきれていない文献も多い。これらについては、「京都歴史災害研究」の第2号以降において、継続的に掲載を続けることにしたい。

文献目録作成は、終わりのない作業である。完全に近いものをつくらうとすれば、限られた人数では難しい。そこで、この「文献目録」にもれている文献名を、御存じの方は、是非、研究会事務局まで御連絡いただきたい。それは次号以降において掲載させていただくこととする。御協力をお願いする次第である。

なお、ある程度文献目録が整った段階において、それをどのような形で集成し、利用しやすく整備するかについては、今後時間をかけて検討してみたい。これについても、よい案があれば、お聞かせ願いたい。